

# チャペル週報

No.24

2014.12.1 ~ 12.5

主なる神は言われる。

「牧者が、自分の羊がちりぢりになっているときに、その群れを探すように、わたしは自分の羊を探す。」

(エゼキエル書34章12節)



中央講堂ロビー ステンドグラス

関西学院宗教センター

---

☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

- 12月1日(月) 神 <説教演習B> 島田尚美(神学研究科M1)  
経 「人間を考える⑥」 韓燕麗(経済学部准教授)  
人 アドベントを覚えて 嶺重淑(宗教主事)  
聖和 聖書物語 ろばにのってエルサレムに・さいごの夕食  
理 前川裕(宗教主事)
- 
- 12月2日(火) 神 神田健次(神学部教授)  
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)  
社 フィリピン小学校・孤児院支援活動報告 上ヶ原ハビタット  
法 栗林輝夫(宗教主事)  
経 「人間を考える⑦」 久保真(経済学部准教授)  
商 English Chapel Timothy Dale Boyle(宣教師)  
国 アドベントをおぼえて 平林孝裕(宗教主事)  
聖和 徳田真二(学生活動支援機構総合支援センター課長) および応援団総部吹奏楽部メンバー  
総 大島一晃(NPO法人、場とつながりの研究センター事務局長)
- 
- 12月3日(水) 神 聖歌隊による音楽礼拝  
社 「希望」について① 岡田弥生(社会学部教授)  
法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen(宣教師)  
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle(宣教師)  
商 音楽チャペル ハンドベルクワイア  
人 嶺重淑(宗教主事)  
国 音楽チャペル バロックアンサンブル  
聖和 田淵結(教育学部宗教主事)  
理 成田いうし(日本キリスト教団磐上教会牧師)  
総 久保田哲夫(総合政策学部教授)
- 
- 12月4日(木) 神 東よしみ(神学部助教)  
文 音楽チャペル 聖歌隊  
社 「希望」について② 廣瀬規代志(日本キリスト教団関西学院教会牧師)  
法 栗林輝夫(宗教主事)  
経 「人間を考える⑧」 長谷川哲子(経済学部准教授)  
商 インクルーシブ・コミュニティ構築に向けて 中島隆宏(アジア保健研修所)  
国 Eun Ja Lee(宣教師)  
聖和 パーバーショップハーモニーとクリスマス 広瀬康夫&グリークラブ  
総 佐山浩(総合政策学部教授)
- 
- 12月5日(金) 大学院、神学部、文学部、経済学部合同チャペル 於：神学部チャペル  
English Chapel Rev. James Moos  
人 音楽チャペル ハンドベルクワイア  
聖和 音楽のプレゼント 吹奏楽部  
理 前川裕(宗教主事)
- 

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)  
12月5日(金) 宗教センターの働きのために 田淵結(宗教センター長)

---

# アドヴェント：待つことの希望と喜び

加 納 和 寛

クリスマス前の4週間の名称である英語のアドヴェントの語源は、ラテン語のアドヴェントゥス、直訳すると「到来」「訪れ」です。これを日本で「待降節」、降るのを待つ季節と訳したのはなかなか面白いと感じます。降る、到来するのは言うまでもなくイエス・キリストですが、私たち人間はただ待つしかないからです。

この「待つ」ことは基本的にムダな時間であると思われるような気がします。電車やバスを待つ間、あるいはその車内で、ほとんどの人（私もその一人です）が一心不乱にスマートフォンを操作していますが、時間の有効活用であると同時に、ただ「待つ」ことの無意味さに耐えられないので、ほかのことで気を紛らわせたいという心理もそこにあるように感じます。

ではアドヴェントはどうでしょうか。クリスマスを「待つ」のは電車やバスを「待つ」のとは意味が違います。クリスマスは、あなたを愛しているイエス・キリストと出会う日です。仮に、ふだん離れている最愛の人と再会する日が数日後に迫っていると想像してみてください。その日のことを考えるだけで心は希望と喜びに満たされ、「待つ」ことはむしろ楽しく、充実した時間となるでしょう。アドヴェントも同じです。本来ならば寒さと年末の忙しさが心が沈みがちなこの期間を、イエス・キリストとの出会いが、喜びにあふれる日々に変えてくれるのです。

実は私たちは、アドヴェントに限らず、いつも「待つ」ことをしていると言えます。電車やバスに限らず、メールの返事、終業・下校時間、家族の帰り、明日の朝が来ること、数ヶ月後の長期休暇、仕事をリタイアする日、そして人生最後の日。いろいろなことを「待つ」のが、私たちの毎日、いや人生そのものであるとも言えます。しかし私たちは人生という名のアドヴェントを、何かで気を紛らわして過ごさなければならないではありません。人生のゴールの向こうでは、私たちを心から愛しているイエス・キリストと、遂に顔と顔を合わせる出会いが待っています。その瞬間を想う時、私たちの今日この一日一日は、希望と喜びの光輝くアドヴェントの日々になるのです。

(神学部助教)

●冬の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、冬の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：12月1日(月)～5日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

●第198回ランバス演奏会

「シェイクスピアの音楽とイギリスのキャロル」

平井満美子／ソプラノ 佐野健二／リュート、オルファリオン

と き：12月4日(木) 17:00 開演 (16:30 開場)

と ころ：ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)

<入場無料>

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストです。ランバス演奏会には1998年から毎年イースターとクリスマスシーズンに出演しています。

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを実施しています。(17:50～18:20 1405 教室) 賛美歌や聖書に基づくメッセージ等を通して心穏やかなひとときを過ごしてみませんか。聖書と賛美歌はご用意しておりますので、初めての方でも安心してご参加いただけます。どうぞお気軽にお集まりください。

【12月主題】「アドベントを覚えてークリスマスを待ち望むー」

【メッセージ】

12月4日(木) 舟木 謙 (大学宗教主事)

12月11日(木) 田淵 結 (宗教総主事)

12月18日(木) Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)

●タベの祈りatランバス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごすタベの祈りのひととき。どなたでもご参加ください。

第3回 1月8日(木) 18:30～20:00

と ころ：ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)

主 催：タベの祈り準備会 (学生有志)

協 力：関西学院宗教活動委員会

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

開催日時：12月22日(月) 17:30 開場 18:30 開始

参加費：2000円 当日座席指定 (16:30より)

チケット販売：関西学院大学生協／チケットぴあ／ザ・シンフォニーチケットセンター  
／サークルKサンクス／ファミリーマート

●関西学院のクリスマス行事

\*クリスマスツリー点灯式

12月1日(月) 18:30～

西宮上ヶ原キャンパス 中央芝生

西宮聖和キャンパス 1号館前

神戸三田キャンパス アカデミックコモンズ前

\*関西学院クリスマス礼拝 ー音楽で祝う降誕ー

12月16日(火) 17:00～ 西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂

12月17日(水) 17:00～ 神戸三田キャンパス VI号館101

12月18日(木) 18:30～ 西宮聖和キャンパス メアリー・イザベラ・ランバスチャペル